

令和7年度 学校評価 学校関係者評価結果について

- 目的 本アンケートは、学校運営協議会委員の方々の意見を聞き、桜ヶ丘小学校を「魅力あるよりよい学校」にしていくことを目的としています。
- 対象 桜ヶ丘小学校に在籍する学校運営協議会委員
- 方法 学校評価シートによる回答
- 実施日 令和8年2月27日実施
- 回答率 学校運営協議会委員 8/10名 80%

項目	経営目標	本年度の重点	評価	講評等
【知】 knowledge 確かな学力	深く考える子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適・協働的な学びの推進 ・ICT を効果的に活用した授業研究 ・読書活動の充実 ・外国語教育 ・SDG s への取り組み 	B	<p>子どもが主体的に学ぶ力を身につけてほしいという思いと、親の期待との間にギャップがあり負担に感じることもあるが、先生方の指導のおかげで宿題に自ら取り組む姿が見られ、成長を実感している。授業以外でも人生に役立つ話をしてくれることに感謝しており、特に小5理科での「大会・試合翌日の心構え」に関する話が深く響いていた。</p> <p>学習においては、グループ活動に加えて、個人の考えやひらめきを深める工夫があればさらに良いと感じている。</p> <p>また、分からない子に文章を読ませ、自分で考えさせる指導を評価しており、深い学びを通して粘り強い思考が育っていると感じている。</p> <p>総合的な評価は No.1～3 のいずれも高く、非常に満足している。</p>

<p>【徳】 moral 豊かな心</p>	<p>明るくやさしい子の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己肯定感を高める教育 ・ あいさつの奨励 ・ 「命の大切さ」の教育 ・ たてわり活動の推進 ・ 規律指導、場面对応 	<p>B</p> <p>小学 1 年生の昔遊び見学では仲間外れの様子がほとんど見られず、今後も高学年まで継続して取り組ませたい。子どもたちは地域の大人へ元気にあいさつし、困っている人を助ける姿もあるなど、良好な人間関係と生活態度が育っている。毎日友だちと楽しく過ごせており安心しているほか、立哨時にも積極的にあいさつするなど、命や心の大切さを学ぶ姿がうかがえる。桜ヶ丘幼稚園から届いた鏡餅の記事を見て温かい気持ちになり、豊かな心の育成につながっていると感じた。文章作りでは自分の考えを伝えようと努力する姿が見られ、道徳教育・たてわり活動・集団活動などの取り組みの成果が表れている。失敗を恐れず挑戦しようとする姿勢が重要であり、No.5 に差が出ているのは主体が自分か第三者かの違いによるものと考えられる。</p>
<p>【体】 physical health 健やかな体</p>	<p>心身ともにたくましい子の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎体力の向上 ・ 外遊び、みんなでチャレンジ ・ こころの健康 ・ 安全教育 ・ 防災教育 	<p>B</p> <p>最近の子どもたちは、暑さや寒さを当たり前として受け入れる様子が少なく、水筒を持って体育に参加していることに驚きがある。一方で、元気が良く、多少の無茶も子どもの特権として好ましく感じられるが、安全面では自動車に注意が必要。 学校閉鎖の話は初めて聞いたが、桜ヶ丘では以前から体力不足が指摘されており、地域特性として通学距離は短いものの坂が多いこと、また食育にも力を入れている点 がうかがえる。 廊下や階段を走る傾向は昔からあるが、徐々に減ってきており、体育や休み時間に積極的に運動させている成果が出ていると考えられる。また、アンケート No.10 の%の差は、「当事者（児童）」と「第三者（保護者）」という立場による見方の違いと理解できる。</p>

A…達成できた B…おおむね達成できた C…あまり達成できなかった D…ほとんど達成できなかった